

第3款 民 生 費

科 目	予 算 現 額	決 算 額	主 要 な 施 策	施 策 の 実 施 状 況 と 成 果 等
1 社会福祉費	円	円		
1 社会福祉総務費 (P96)	8,595,923,000 (13,867,947,000) 翌年度への繰越 事業費繰越額 24,620,000 [京都式地域包括 ケアセカンドス テージ事業費]	8,515,117,095 (13,362,609,698) 決算額の財源 内訳 国庫支出金 2,525,979,334 財 産 収 入 930,155 繰 入 金 385,440,664 繰 越 金 26,880,000 諸 収 入 14,904,000 府 債 2,000,000 一 般 財 源 5,558,982,942	療養病床あんしん確保 対策事業 (高齢者支援課)           京都式地域包括ケアセ カンドステージ事業 ( 高 齢 者 支 援 課 介 護 ・ 地 域 福 祉 課 障 害 者 支 援 課 )	1 施策の趣旨等 高齢者が必要とする療養病床を確保し、府民に対する医療・介護サービスの提供体制を整備する。  指標：医療療養病床数 目標：約3,600床(平成29年度) 実績：3,445床  2 施策の実施状況 医療療養病床を有する医療機関が行う病床の維持等に要する事業に助成した。 7 医療機関  3 執 行 額  9,596,000円 (補助金)   1 施策の趣旨等 医療・介護・福祉を一体化した地域包括ケアを推進し、高齢者が住み慣れた地域で安心して暮らし続けられる社会の実現を図る。 京都府介護・福祉人材確保総合事業 指標：福祉人材の確保 目標：7,000人(うち北部1,000人)(平成29年度まで) 実績：4,792人(うち北部712人)  2 施策の実施状況 (1) 京都府介護・福祉人材確保総合事業 福祉人材の確保及び定着を図るための支援を行った。 ア 福祉人材育成認証システム推進事業 全国初の取組として、人材育成に積極的に取り組む福祉事業所を京都府が認証し、公表する「きょうと福祉人材育成認証制度」を推進した。 宣言事業者 565件 認証事業者 247 上位認証法人 5 イ 人材確保・定着 (ア) 介護・福祉人材プラットフォーム事業 関係機関・団体からなるプラットフォーム(きょうと介護・福祉ジョブネット)により、介護・福祉人材確保・定着に係る事業を企画・調整するとともに、情報発信等を行った。

科 目	予算現額 円	決算額 円	主要な施策	施策の実施状況と成果等																																						
				<p>(イ) 福祉人材カフェの運営 福祉人材カフェにおいてきめ細やかな就業相談・支援を行うとともに、求職者支援員の配置や福祉職場就職フェアの開催等を実施し、介護・福祉を担う人材の確保・定着を図った。</p> <table border="0"> <tr> <td>福祉人材カフェ（京都ジョブパーク内）</td> <td>相談件数</td> <td>2,041件</td> <td>就職者数</td> <td>530人</td> </tr> <tr> <td>北部福祉人材カフェ（北京都ジョブパーク内）</td> <td>〃</td> <td>831</td> <td>〃</td> <td>357</td> </tr> <tr> <td>福祉職場就職フェアの開催</td> <td>全域</td> <td>2回</td> <td>地域別</td> <td>1回</td> </tr> <tr> <td>福祉就活サポート事業</td> <td></td> <td></td> <td>就職者数</td> <td>20人</td> </tr> </table> <p>ウ 人材育成 小・中学生に対する職業教育プログラムや福祉職場未経験者への職場体験事業を実施し、介護・福祉を担う人材を育成した。</p> <p>次世代の担い手育成事業 10校 (小学校7校306人、中学校3校99人)</p> <p>エ 介護・福祉人材総合支援センターの運営 介護福祉人材確保の拠点として、就業支援やマッチングに加え、就業後の研修や定着支援までを一体的に実施した。</p> <table border="0"> <tr> <td>就業相談・マッチング事業</td> <td>内定者</td> <td>329人</td> </tr> <tr> <td>再就職支援</td> <td>内定者</td> <td>183</td> </tr> </table> <p>オ 介護福祉士等修学資金貸付事業・介護人材再就職準備金貸付事業 介護福祉士等を目指す学生への修学資金貸付制度の充実及び離職した介護人材が再就職する際に必要となる準備金の貸付を実施した。</p> <table border="0"> <tr> <td>修学資金貸付</td> <td>22件</td> </tr> <tr> <td>再就職準備金貸付</td> <td>9</td> </tr> </table> <p>(2) 新・地域包括ケア総合交付金事業 京都式地域包括ケアシステムの3大プロジェクト（認知症、リハビリ、看取り）を軸とした、地域の特性に応じた市町村の積極的な取組や、団体による府全域を対象とした人材育成事業、団体と市町村との連携による取組に対して交付金を交付した。</p> <table border="0"> <tr> <td>25市町村</td> <td>57,105,000円</td> </tr> <tr> <td>7団体</td> <td>12,784,000円</td> </tr> </table> <p>(3) 看取りプロジェクト推進事業 『『さいごまで自分らしく生きる』を支える京都ビジョン・京都アクション』に基づき、看取りサポート専門人材の養成や、本人の意思を尊重した在宅及び施設における看取りの支援、家族が看取りに寄り添える施設的环境整備等、看取り対策の推進を図った。</p> <table border="0"> <tr> <td>家族宿泊室整備助成</td> <td>1箇所</td> </tr> </table> <p>(4) 高齢者等見守り地域づくり事業 地域の高齢者、障害者、児童等、要配慮者の見守り・生活支援を進めるため、地域の活動団体を巻き込んだ「見守りネットワーク（絆ネット）」を構築するとともに、見守り団体の強化・支援を実施した。</p> <table border="0"> <tr> <td>絆ネット構築市町村数</td> <td>12市町</td> </tr> </table>	福祉人材カフェ（京都ジョブパーク内）	相談件数	2,041件	就職者数	530人	北部福祉人材カフェ（北京都ジョブパーク内）	〃	831	〃	357	福祉職場就職フェアの開催	全域	2回	地域別	1回	福祉就活サポート事業			就職者数	20人	就業相談・マッチング事業	内定者	329人	再就職支援	内定者	183	修学資金貸付	22件	再就職準備金貸付	9	25市町村	57,105,000円	7団体	12,784,000円	家族宿泊室整備助成	1箇所	絆ネット構築市町村数	12市町
福祉人材カフェ（京都ジョブパーク内）	相談件数	2,041件	就職者数	530人																																						
北部福祉人材カフェ（北京都ジョブパーク内）	〃	831	〃	357																																						
福祉職場就職フェアの開催	全域	2回	地域別	1回																																						
福祉就活サポート事業			就職者数	20人																																						
就業相談・マッチング事業	内定者	329人																																								
再就職支援	内定者	183																																								
修学資金貸付	22件																																									
再就職準備金貸付	9																																									
25市町村	57,105,000円																																									
7団体	12,784,000円																																									
家族宿泊室整備助成	1箇所																																									
絆ネット構築市町村数	12市町																																									

訪問見守りボランティア支援数 414団体  
 熱中症対策訪問世帯数 170,978世帯

3 執行額 475,642,441円  
 (うち委託料 288,128,878円  
 補助金 164,975,149円)

重度心身障害児(者)  
 等医療給付助成事業  
 (医療保険政策課)

1 施策の趣旨等  
 重度心身障害児(者)ひとり親家庭及び重度心身障害のある高齢者の経済的負担の軽減を図る。

2 施策の実施状況

市町村が実施する福祉医療給付事業等に助成した。

	重度心身障害児(者)		
	京都市	京都市以外の市町村	計
医療費	1,123,979,617円	893,830,933円	2,017,810,550円

	ひとり親家庭		
	京都市	京都市以外の市町村	計
"	528,223,123円	417,586,493円	945,809,616円

	重度心身障害老人		
	京都市	京都市以外の市町村	計
"	675,356,445円	484,422,131円	1,159,778,576円

3 執行額 4,170,636,710円  
 (うち補助金 4,170,373,000円)

京都式生活・就労一体  
 型支援事業  
 (福祉・援護課)

1 施策の趣旨等  
 生活困窮者自立支援法等に基づき、自立就労のサポート強化を行うなど、生活と就労の一体的支援に積極的に取り組み、生活困窮者等の就労を総合的に支援する。

指 標	目 標	実 績
生活困窮者自立相談支援者数	3,300人	2,695人
京都自立就労サポートセンター利用者数	2,000	2,090
中間的就労(有給雇用型)協力団体数	20団体	24団体
学習支援等を行った生活困窮者世帯等の中学生のうち高校進学を希望する者の進学率	100%	100%

2 施策の実施状況

- (1) 保健所における自立相談支援  
 保健所に相談支援員を配置し、生活困窮者の自立相談支援を実施した。  
 生活困窮者自立相談支援者数 延べ709人

科 目	予算現額	決算額	主要な施策	施策の実施状況と成果等
	円	円		<p>(2) 就労サポート機能の強化 「京都自立就労サポートセンター」による自立相談支援機関における生活困窮者自立相談支援事業のサポートや中間的就労の場の開拓等を実施した。 自立相談支援機関への支援件数 385件 きょうと生活・就労おうえん団参加団体数 389団体 うち中間的就労（有給雇用型）協力団体数 144 中間的就労（有給雇用型）による支援者数 45人</p> <p>(3) 生活改善・社会訓練に向けた取組 生活等に課題を抱える者にカウンセリング等を行う居場所を設置するとともに、就労体験の場を提供し、就労のための訓練を行った。 生活困窮者等の居場所利用者数 延べ48人 就労体験参加者数 1</p> <p>(4) 技能・基礎能力習得に向けた取組 きめ細かい段階的な就労支援メニューとして、社会人基礎力向上のセミナーや、就職準備訓練等を実施した。 就職準備等スキルアップ訓練参加者数 2人</p> <p>(5) 子どもの居場所づくりに向けた取組 生活困窮世帯等の中学生等を対象に進路等を考える機会を提供するための居場所を設置した。 利用者数 13人</p> <p>(6) 就労準備支援事業者等の育成に向けた取組 生活困窮者等の自立を支援する社会資源の育成のため、社会福祉法人・NPO等を対象に研修を実施した。 受講者数 41人</p> <p>3 執行額 66,039,789円 (うち委託料47,537,597円)</p>
			生活福祉相談・就労支援事業 (介護・地域福祉課)	<p>1 施策の趣旨等 生活福祉資金貸付事業の相談員を配置し、生活困窮者の生活再建を支援する。</p> <p>2 施策の実施状況 各市区町村社会福祉協議会の生活福祉資金相談窓口相談員を配置し、総合的な相談・自立支援を実施した。 相談員の配置 42人 相談件数 8,899件</p> <p>3 執行額 52,555,000円 (補助金)</p>

			<p>地域医療介護総合確保基金積立金 (高齢者支援課)</p>	<p>1 施策の趣旨等 効率的かつ質の高い医療提供体制の構築と、地域包括ケアシステムの構築を総合的に推進するため、「地域医療介護総合確保基金(介護分)」の積立てを行った。</p> <p>2 施策の実施状況 地域医療介護総合確保基金(介護分)の積立てを行った。 平成27年度末現在高 1,360,591,130円 (出納整理期間中に、37,564,191円を積立て) 執行額(積立金) 3,734,647,155 (一般会計への繰出額 2,174,542,000) 平成28年度末現在高 2,958,260,476 出納整理期間中に、23,189,597円を積立て</p> <p>3 執行額 3,734,647,155円 (積立金)</p>
			<p>被災地支援事業 (介護・地域福祉課)</p>	<p>1 施策の趣旨等 平成28年熊本地震による被災地を支援するため、現地にボランティア等を派遣する。</p> <p>2 施策の実施状況 被災地支援のため、ボランティア派遣等を行った。 現地災害ボランティアセンター事務局職員派遣 33人 一般ボランティア派遣 2回 59</p> <p>3 執行額 6,000,000円 (補助金)</p>
<p>2 障害者福祉費 (P98)</p>	<p>2,202,235,865 (18,358,104,000) 翌年度への繰越 事業費繰越額 319,787,000 障害者施設整備 助成費 316,704,000 社会福祉施設等 安全対策事業費 3,083,000</p>	<p>1,494,433,780 (17,508,787,448) 決算額の財源 内訳 国庫支出金 344,977,152 寄附金 150,000 諸収入 17,260,426</p>	<p>障害者地域生活支援事業 (障害者支援課)</p>	<p>1 施策の趣旨等 地域の特性や障害者の状況に応じた事業を実施し、障害者(児)が自立した日常生活又は社会生活を営むことができるよう支援する。</p> <p>2 施策の実施状況 (1) 発達障害者支援事業 発達障害者の自立と社会参加のため、ライフステージを通じて支援を実施した。 (2) 地域生活支援事業 能力や適正に応じ、障害者(児)が自立した日常生活や社会生活を送ることができるよう、相談事業やコミュニケーション支援事業に助成した。</p>

科 目	予算現額	決算額	主要な施策	施策の実施状況と成果等
	円	円 府債 106,000,000 一般財源 1,026,046,202	障害者（児）福祉サービス等利用支援事業（障害者支援課）	<p>26市町村 631,198,000円</p> <p>3 執行額 858,135,744円 (うち委託料 160,226,783円 補助金 690,138,000円)</p> <p>1 施策の趣旨等 障害者自立支援法の施行に伴う利用者負担額の増加等に対し、激変緩和の観点から府独自の支援策を実施する。</p> <p>2 施策の実施状況 障害者福祉サービス等利用者の所得区分に応じ、負担額を軽減した。 対象者数 補装具給付利用者負担緩和事業 延べ 4,487人 自立支援医療利用者負担緩和事業 " 275,085 重複利用者負担総合上限事業 " 100 知的障害者入所者医療費負担緩和事業 " 522 障害者自立支援医療特別対策事業 " 512 障害児施設利用支援事業 " 860</p> <p>3 執行額 225,056,978円 (うち補助金 186,632,000円 扶助費 34,031,116円)</p> <p>1 施策の趣旨等 障害福祉計画に定めるサービス見込量を確保するため、施設の創設や既設事業所の大規模修繕等に要する経費を助成し、量的整備と質の向上を図る。 指標：共同生活援助の支給決定見込量 目標：1,411人 実績：1,416人</p> <p>2 施策の実施状況 (1) 生活介護事業（創設） 設置主体 特定非営利活動法人 きづがわ福祉会 事業所名 (仮称) もえぎ 設置場所 木津川市山城町平尾中古川23番地 定員 20人 構造・規模 木造2階建て 延床面積 169.20㎡ 総事業費 43,030,000円</p>
			障害者施設整備助成事業（障害者支援課）	

				<p>補助額 32,111,000</p> <p>(2) 就労継続支援B型事業(改築)</p> <p>設置主体 社会福祉法人 しあわせネットワーク</p> <p>事業所名 しあわせネット・勇氣</p> <p>設置場所 福知山市字天田小字額田426</p> <p>定員 20人</p> <p>構造・規模 木造 延床面積 128.19㎡</p> <p>総事業費 34,992,000円</p> <p>補助額 8,865,000</p> <p>(3) 共同生活援助事業(創設)</p> <p>設置主体 特定非営利活動法人 わいわいネットなかま</p> <p>事業所名 陽だまりの里 さんさん上石</p> <p>設置場所 綾部市寺町上石28 6、28 3</p> <p>定員 4人</p> <p>構造・規模 木造 延床面積 99.37㎡</p> <p>総事業費 25,631,743円</p> <p>補助額 18,144,000</p> <p>(4) 共同生活援助事業(創設)</p> <p>設置主体 社会福祉法人 共生福祉会</p> <p>事業所名 グループホーム緑の風玉枝ホーム(仮称)</p> <p>設置場所 京田辺市大住大坪42 12</p> <p>定員 4人</p> <p>構造・規模 木造2階建て 延床面積 162.04㎡</p> <p>総事業費 35,106,000円</p> <p>補助額 21,600,000</p> <p>(5) 共同生活援助事業(大規模修繕)</p> <p>設置主体 社会福祉法人 久美の浜福祉会</p> <p>事業所名 佐濃ホーム</p> <p>設置場所 京丹後市久美浜町安養寺580 3</p> <p>定員 10人</p> <p>構造・規模 木造 延床面積 501.93㎡</p> <p>総事業費 8,791,000円</p> <p>補助額 5,592,000</p> <p>(6) 共同生活援助・短期入所事業(創設)</p> <p>設置主体 社会福祉法人 久御山福祉会</p> <p>事業所名 グループホームわお(仮称)</p> <p>設置場所 久世郡久御山町森村東220</p> <p>定員 9人</p> <p>構造・規模 木造2階建て 延床面積 303.76㎡</p> <p>総事業費 77,662,800円</p>
--	--	--	--	--

科 目	予算現額 円	決算額 円	主要な施策	施策の実施状況と成果等
				<p>補助額 31,270,000円</p> <p>(7) 共同生活援助・短期入所事業(創設)</p> <p>設置主体 社会福祉法人 向陵会</p> <p>事業所名 (仮称) ジョイフル神足</p> <p>設置場所 長岡京市神足3丁目102-6</p> <p>定員 5人</p> <p>構造・規模 木造2階建て 延床面積 128.72㎡</p> <p>総事業費 41,990,400円</p> <p>補助額 27,702,000円</p> <p>(8) 相談支援事業(改築)</p> <p>設置主体 特定非営利活動法人 きづがわ福祉会</p> <p>事業所名 きづがわ福祉会</p> <p>設置場所 京都府木津川市山城町平尾東古川74-3</p> <p>定員 20人</p> <p>構造・規模 鉄骨造2階建て 延床面積 165.67㎡</p> <p>総事業費 4,499,300円</p> <p>補助額 3,058,000円</p> <p>(9) 多機能型(生活介護・就労継続支援B型・放課後等デイサービス)(創設)</p> <p>設置主体 社会福祉法人 みねやま福祉会</p> <p>事業所名 (仮称) 宮津福祉人材養成センター</p> <p>設置場所 宮津市字波路716番地の3</p> <p>定員 26人</p> <p>構造・規模 木造 延床面積 109.05㎡</p> <p>総事業費 40,296,377円</p> <p>補助額 24,037,000円</p> <p>(10) 施設入所支援、短期入所、生活介護、就労継続支援B型(大規模修繕)</p> <p>設置主体 社会福祉法人 京都太陽の園</p> <p>事業所名 京都太陽の園</p> <p>設置場所 南丹市園部町横田前32</p> <p>定員 50人</p> <p>構造・規模 鉄筋コンクリート造 延床面積 2,634.71㎡</p> <p>総事業費 26,443,800円</p> <p>補助額 19,043,000円</p> <p>(11) 共同生活援助事業(スプリンクラー整備)</p> <p>設置主体 社会福祉法人 山城福祉会</p> <p>事業所名 グループホームかさとり</p> <p>設置場所 宇治市西笠取辻出川東67-1</p> <p>定員 10人</p>



				<p>構造・規模 木造 延床面積 253.81㎡          総事業費 7,668,000円          補助額 4,703,000</p> <p>(12) 共同生活援助事業（スプリングラー整備）          設置主体 社会福祉法人 久美の浜福祉会          事業所名 佐濃ホーム          設置場所 京丹後市久美浜町安養寺580 3          定員 10人          構造・規模 木造 延床面積 501.93㎡          総事業費 5,616,000円          補助額 4,212,000</p> <p>(13) 共同生活援助事業（増築）          設置主体 社会福祉法人 あみの福祉会          事業所名 共同生活住居「ほてい荘」          設置場所 京丹後市網野町下岡854          定員 11人          構造・規模 木造2階建て 延床面積 556.09㎡          総事業費 16,480,800円          補助額 2,685,000</p> <p>3 執行額 203,022,000円          （補助金）</p> <p>1 施策の趣旨等          障害のある人もない人も共に安心していきいきと暮らせる共生社会を実現するため、障害のある人の文化芸術及びスポーツ活動を推進する。          指標：スポーツ、文化、芸術、レクリエーション活動への障害のある人の延べ参加者数          共通目標：13,000人 実績：11,999人          障害者スポーツ振興事業と共通の目標</p> <p>2 施策の実施状況          (1) 障害者文化芸術推進事業費          「きょうと障害者文化芸術推進機構」を運営し、文化芸術活動を推進した。          障害者文化芸術展の企画・開催 2,722人          地域アート展開催支援 10箇所          「共生の芸術祭 ストップ・ウォッチ」来場者数 1,615人          とっておきの芸術祭 3,776          アートサポーター等人材育成 5回          (2) 障害者スポーツ推進事業          身近な施設でスポーツに親しむ障害者を増加させるため、指導員を養成するなど障害者</p>
--	--	--	--	--

科 目	予 算 現 額	決 算 額	主 要 な 施 策	施 策 の 実 施 状 況 と 成 果 等									
	円	円		<p>スポーツの推進を図った。</p> <table border="0"> <tr> <td>障害者スポーツ指導員養成講習会</td> <td>参加者数</td> <td>26人</td> </tr> <tr> <td>全国障害者スポーツ大会選手派遣</td> <td>選手派遣数</td> <td>25</td> </tr> <tr> <td>全国車いす駅伝競走大会</td> <td>参加選手数</td> <td>104</td> </tr> </table> <p>障害者スポーツ拠点整備、空調設備等の設置、心身障害者福祉センター整備 腰痛検査室等の改修 等</p> <p>3 執 行 額 <span style="float: right;">125,032,971円</span></p>	障害者スポーツ指導員養成講習会	参加者数	26人	全国障害者スポーツ大会選手派遣	選手派遣数	25	全国車いす駅伝競走大会	参加選手数	104
障害者スポーツ指導員養成講習会	参加者数	26人											
全国障害者スポーツ大会選手派遣	選手派遣数	25											
全国車いす駅伝競走大会	参加選手数	104											
			ヘルプマーク推進事業 (障害者支援課)	<p>1 施策の趣旨等 外観からは分かりにくい内部障害や難病の方などが、公共交通機関等で支援を得られやすくするため、ヘルプマークを導入する。</p> <p>2 施策の実施状況 援助を必要とする方に対し、ヘルプマークを窓口配布した。 配布数 10,689個</p> <p>3 執 行 額 <span style="float: right;">4,366,353円</span></p>									
			障害者スポーツ振興事業 (障害者支援課)	<p>1 施策の趣旨等 サン・アビリティーズ城陽がパワーリフティングのナショナルトレーニングセンターに指定されたことを契機として、トップアスリートの支援を強化するほか、障害者スポーツの裾野拡大と府民理解促進に向けた取組を実施する。</p> <p>指標：スポーツ、文化、芸術、レクリエーション活動への障害のある人の延べ参加者数 共通目標：13,000人 実績：11,999人 障害者文化・スポーツ振興事業と共通の目標</p> <p>2 施策の実施状況</p> <p>(1) パラリンピアン支援事業費 トレーニング機器（ベンチプレス台等）、医科学機器（筋電図等）の設置等</p> <p>(2) 障害者スポーツ交流事業費 車いすフェンシング、パラ・パワーリフティング体験会 参加者数 延べ60人</p> <p>3 執 行 額 <span style="float: right;">15,810,539円 (うち備品購入費 8,289,865円)</span></p>									

			<p>社会福祉施設等安全対策事業 (障害者支援課)</p>	<p>1 施策の趣旨等 社会福祉施設の安全対策強化を図るため、非常通報装置の設置等を実施する。</p> <p>2 施策の実施状況</p> <p>(1) 民間施設 整備施設数 58施設 整備内容 防犯カメラ、非常通報装置設置等 補助額 56,568,000円</p> <p>(2) 府立施設</p> <table border="0"> <tr> <td>施設名</td> <td>整備内容</td> </tr> <tr> <td>府立心身障害者福祉センター</td> <td>防犯カメラ、非常通報装置等</td> </tr> <tr> <td>府立視力障害者福祉センター</td> <td>防犯カメラ、非常通報装置</td> </tr> </table> <p>3 執行額 63,009,195円 (うち補助金 56,568,000円)</p>	施設名	整備内容	府立心身障害者福祉センター	防犯カメラ、非常通報装置等	府立視力障害者福祉センター	防犯カメラ、非常通報装置
施設名	整備内容									
府立心身障害者福祉センター	防犯カメラ、非常通報装置等									
府立視力障害者福祉センター	防犯カメラ、非常通報装置									
<p>3 婦人福祉費 (P98)</p>	<p>26,439,000 (110,243,000)</p>	<p>26,007,047 (108,632,977)</p> <p>決算額の財源 内訳 国庫支出金 8,623,485 諸収入 2,645,620 一般財源 14,737,942</p>	<p>ドメスティック・バイオレンス対策事業 (家庭支援課)</p>	<p>1 施策の趣旨等 家庭支援総合センターを中心に、市町村等関係機関と連携・協力し、配偶者からの暴力を受けた者に対する相談対応、一時保護及び自立支援等を実施する。 指標：自立支援計画を策定(概ね2週間以上の家庭支援総合センター入所者)し継続的に支援する者 目標：50件 実施：43件</p> <p>2 施策の実施状況</p> <p>(1) 相談・支援機能の強化 家庭支援総合センター(配偶者暴力相談支援センター)において、被害者に対する適切な処遇を行うための相談・支援を実施した。 相談件数 延べ9,095件 カウンセリング件数 " 260</p> <p>(2) 一時保護、被害者の自立支援事業 家庭支援総合センターにおける緊急一時保護や民間支援団体が運営する民間シェルターに助成し、被害者支援の推進を図るとともに、被害者の地域生活を支援する地域生活サポーターの養成を実施した。 一時保護人数 114人 地域生活サポーター養成数 78</p> <p>(3) 協力機関の連携・協力 関係機関・団体からなる「DVネットワーク京都会議」を開催するとともに、参加関係団体を対象とした「DV被害者支援シンポジウム～SNSに関係したDVについて～」を開催した。また、市町村相談員等を対象に研修を実施し、市町村におけるDV施策の推進・連携体制を整備した。</p>						

科 目	予 算 現 額	決 算 額	主 要 な 施 策	施 策 の 実 施 状 況 と 成 果 等
	円	円	京都性暴力被害者ワンストップ相談支援センター事業 (家庭支援課)	<p>DVネットワーク京都会議 4回 DV被害者シンポジウム参加者数 93人 市町村相談員等研修 4回</p> <p>3 執 行 額 13,605,000円</p> <p>1 施策の趣旨等 性暴力被害者に対して総合的な支援を提供する「京都性暴力被害者ワンストップ相談支援センター」を運営し、被害者の心身の負担軽減とその回復を図るとともに、被害の潜在化を防止し、性暴力のない社会づくりを推進する。</p> <p>2 施策の実施状況 (1) 性暴力被害者の状況に応じた支援を関係機関と連携して実施 電話相談 1,205件 来所相談 119 同行支援 95 公費負担による経済的支援 医療費26 カウンセリング194件 (2) 性暴力被害者に対する相談支援ネットワークの強化 関係機関連携会議の開催 3回 (3) 性暴力被害者相談支援員の養成 関係機関の支援をコーディネートできる専門的な知識やスキルを備えた人材の養成研修を実施した。 支援員養成講座修了者 21人</p> <p>3 執 行 額 12,402,047円 (うち委託料 10,822,518円)</p>
4 老人福祉費 (P98)	35,815,124,000 (37,217,776,000) 翌年度への繰越 事業費繰越額 1,250,243,000 [京都式地域包括 ケアセカンドス テージ事業費]	34,551,461,706 (35,929,508,490) 決算額の財源 内訳 分担金及び負担 金 184,172,000 国庫支出金 188,522,000 財 産 収 入 362,568	京都式地域包括ケアセカンドステージ事業 (高齢者支援課)	<p>1 施策の趣旨等 医療・介護・福祉を一体化した地域包括ケアを推進し、高齢者が住み慣れた地域で安心して暮らし続けられる社会の実現を図るとともに、高齢者健康福祉計画に基づく特別養護老人ホーム等の創設及び既存施設の増改築を促進し、入居者の生活空間の量的整備と質的向上を推進する。</p> <p>指標：特別養護老人ホーム、介護老人保健施設整備による定員の確保 目標：120人 実績：120人</p> <p>2 施策の実施状況 (1) 福祉有償運送事業</p>

		<p>繰入金 568,176,000</p> <p>繰越金 2,339,000</p> <p>諸収入 900,000</p> <p>府債 776,000,000</p> <p>一般財源 32,830,990,138</p>		<p>通院等の外出に支援を有する高齢者の移動手段を確保するため、事業者の車両購入経費・保有する車両の改造経費の助成及び運転協力者の養成講習会を実施した。</p> <p>福祉車両購入等助成台数 7台</p> <p>運転協力者養成講習参加者数 113人</p> <p>(2) 特別養護老人ホーム等整備事業</p> <p>特別養護老人ホーム等において、入居者の居住環境向上のための施設整備事業や家族と入居者の交流のための宿泊室等整備事業に助成し、介護基盤整備を推進した。</p> <p>設置主体 社会福祉法人希望の丘福祉会 施設名 特別養護老人ホーム豊の郷 設置場所 福知山市字大門900番地 定員 特養80人、ショート20人 構造・規模 鉄骨造地上2階建 延床面積1,671㎡ 総事業費 464,052,000円 補助額 92,801,000</p> <p>設置主体 社会福祉法人乙の国福祉会 施設名 特別養護老人ホーム旭が丘ホーム紅葉葵 設置場所 長岡京市長岡1丁目12番1外 定員 特養30人 構造・規模 鉄筋コンクリート造地上3階地下1階建 延床面積1,405㎡ 総事業費 490,428,000円 補助額 126,661,000</p> <p>設置主体 社会福祉法人みねやま福祉会 施設名 (仮称)宮津福祉人材養成センター 設置場所 宮津市字波路小字峠ノ浜716 3 定員 特養60人 構造・規模 一部鉄骨造地上3階建 延床面積3,423㎡ 総事業費 831,579,685円 補助額 125,002,000</p> <p>設置主体 社会福祉法人宇治明星園 施設名 宇治明星園養護老人ホーム 設置場所 宇治市菟道岡谷16 3 定員 養護50人、ショート3人 構造・規模 一部鉄筋コンクリート造地上2階建 延床面積1,992㎡ 総事業費 573,664,000円 補助額 194,625,000</p> <p>設置主体 社会福祉法人山彦会 施設名 高齢者あんしんサポートハウス木蘭 設置場所 船井郡京丹波町橋爪町田105番地 定員 高齢者あんしんサポートハウス30人 構造・規模 鉄骨造地上1階建 延床面積1,534㎡</p>
--	--	---	--	--

科 目	予算現額	決算額	主要な施策	施策の実施状況と成果等								
	円	円		<p>総事業費 342,360,000円  補助額 139,250,000  設置主体 社会福祉法人成光苑  施設名 特別養護老人ホーム岩戸ホーム  設置場所 福知山市猪野々小字後伯31 1他  定員 特養90人、ショート10人  構造・規模 鉄骨造地上4階建 延床面積4,708㎡  総事業費 1,460,354,400円  補助額 99,141,000</p> <p>(3) 元気な高齢者活躍推進事業  高齢者が地域の担い手として活躍できるようスキルアップ研修を開催した。  参加者数 410人</p> <p>3 執行額 801,020,296円  (うち補助金 792,480,000円)</p>								
			老人医療給付助成事業 (医療保険政策課)	<p>1 施策の趣旨等  府民の高齢期における適切な医療を確保し、健康を守る。</p> <p>2 施策の実施状況  65歳以上70歳未満の高齢者のうち、高齢者の医療の確保に関する法律による医療等の給付の対象とならない者を対象に、市町村が行う医療費の給付に助成した。</p> <table style="margin-left: 40px;"> <tr> <td></td> <td style="text-align: center;">京都市</td> <td style="text-align: center;">京都市以外の市町村</td> <td style="text-align: center;">計</td> </tr> <tr> <td>医療費</td> <td style="text-align: right;">531,202,084円</td> <td style="text-align: right;">776,974,696円</td> <td style="text-align: right;">1,308,176,780円</td> </tr> </table> <p>3 執行額 1,350,010,362円  (うち補助金 1,349,475,242円)</p>		京都市	京都市以外の市町村	計	医療費	531,202,084円	776,974,696円	1,308,176,780円
	京都市	京都市以外の市町村	計									
医療費	531,202,084円	776,974,696円	1,308,176,780円									
			後期高齢者医療助成事業 (医療保険政策課)	<p>1 施策の趣旨等  75歳以上の高齢者に適切な医療を確保し、健康を守る。</p> <p>2 施策の実施状況</p> <p>(1) 後期高齢者医療給付事業  高齢者の医療の確保に関する法律に基づき、医療費の一部を負担した。</p> <p>(2) 後期高齢者医療制度義務負担金  低所得者等の保険料軽減、高額な医療費の公費を負担した。</p> <p>(3) 後期高齢者医療財政安定化基金積立金  後期高齢者医療財政安定化基金への積立てを行った。</p>								

			<p>平成27年度末現在高 執行額（積立金） （一般会計への繰出額） 平成28年度末現在高</p> <p>812,759,118円 552,878,568 555,000,000 810,637,686</p>				
			<p>3 執行額 31,829,949,248円</p> <p style="text-align: right;">（ 負担金 31,256,115,825円 うち補助金 19,240,000 積立金 552,878,568 ）</p>				
		後期高齢者医療特別対策事業 （医療保険政策課）	<p>1 施策の趣旨等 後期高齢者の保険料の増加を抑制することにより、保険料負担を軽減する。</p> <p>2 施策の実施状況 後期高齢者医療財政安定化基金を活用し、京都府後期高齢者医療広域連合に交付することにより、保険料を抑制した。</p>				
			<p>3 執行額 555,000,000円 （補助金）</p>				
		後期高齢者データヘルス推進事業 （医療保険政策課）	<p>1 施策の趣旨等 医療・介護・健診データを活用し、後期高齢者一人ひとりの心身の特性に応じた、質の高い保健事業を推進する。</p> <p>指標：データ活用市町村数 目標：13市町村 実績：16市町村</p> <p>2 施策の実施状況 京都府後期高齢者医療広域連合と市町村が、健診結果やレセプトデータ等をもとに対象者を選定し、一人ひとりの状況に応じた質の高い保健事業を行えるよう支援した。</p>				
			<p>3 執行額 13,176,000円 （補助金）</p>				
		社会福祉施設等安全対策事業費 （高齢者支援課）	<p>1 施策の趣旨等 社会福祉施設の安全対策強化を図るため、非常通報装置の設置等を実施する。</p> <p>2 施策の実施状況</p> <table border="0" style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 50%; text-align: center;">施設名</td> <td style="width: 50%; text-align: center;">整備内容</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">府立洛南寮</td> <td style="text-align: center;">非常通報装置、防犯カメラ等</td> </tr> </table>	施設名	整備内容	府立洛南寮	非常通報装置、防犯カメラ等
施設名	整備内容						
府立洛南寮	非常通報装置、防犯カメラ等						
			<p>3 執行額 2,305,800円 （工事請負費）</p>				





				<p>2 施策の実施状況 国保事業費納付金等を算定するシステムの導入に係る環境整備を行った。 また、京都市町村国保広域化等協議会にテーマ別検討班を設置し、都道府県単位化に向けた課題とその対応策をきめ細かく協議した。</p> <p>3 執行額 3,599,172円</p>
<p>7 介護保険推進費 (P102)</p>	<p>33,151,661,000 (34,443,268,000) 翌年度への繰越 事業費繰越額 879,983,000 [京都式地域包括 ケアセカンドス テージ事業費]</p>	<p>31,898,384,381 33,114,299,587) 決算額の財源 内訳 使用料及び手数料 541,000 国庫支出金 21,071,388 繰入金 977,649,960 繰越金 517,492,000 一般財源 30,381,630,033</p>	<p>介護給付費負担事業 (高齢者支援課)</p> <p>京都式地域包括ケアセ カンドステージ事業 (高齢者支援課 介護・地域福祉課)</p>	<p>1 施策の趣旨等 介護保険制度の円滑な運営を図る。</p> <p>2 施策の実施状況 介護保険法に基づき、市町村の介護給付及び予防給付に要する費用の一部を負担した。 要介護認定者数 145,051人 受給者数 127,903 給付額 208,214,135,606円</p> <p>3 執行額 30,324,139,681円 (負担金)</p> <p>1 施策の趣旨等 医療・介護・福祉を一体化した地域包括ケアを推進し、高齢者が住み慣れた地域で安心して暮らし続けられる社会の実現を図る。</p> <p>2 施策の実施状況 (1) 認知症総合対策事業 ア 認知症高齢者とその家族を支えるため、早期発見・早期対応、相談体制の充実及び専門的な診断等のサービスを充実し、医療・介護・福祉の連携体制の強化を図った。 認知症疾患医療センターの設置 8箇所 認知症初期集中支援チームの設置 9市町村 初期認知症対応型カフェの設置 26 認知症サポート医養成数 27人 認知症対応力向上研修受講者数 1,387 高齢者あんしんサポート企業 206事業所 1,966人 イ 「京都認知症総合センター(仮称)」整備事業 認知症の初期からターミナル期まで、容態に応じた適時・適切なサービスを一体的に提供する複合型施設「京都認知症総合センター(仮称)」の整備に着手した。 ウ 日本版リンクワーカーの養成 支援の空白期間となっている初期認知症の方への総合的な伴走支援を行うリンクワーカーを養成した。</p>

科 目	予算現額 円	決算額 円	主要な施策	施策の実施状況と成果等
				<p>リンクワーカー養成数 45人</p> <p>エ 「こころのケアセンター」整備構想検討事業 認知症等の総合相談窓口や人材養成を行う「こころのケアセンター」の整備構想を策定した。</p> <p>オ 認知症アクションアライアンスの推進 当事者ワーキンググループの設置等による認知症の方にやさしいまちづくりを推進した。</p> <p>カ 若年性認知症対策の推進 就労継続できる環境の整備に向け、産業医等への理解促進のための研修を実施した。</p> <p>(2) 介護予防安心住まい推進事業 市町村が実施する要介護状態となるおそれが高い高齢者等の住宅改修工事に対する補助事業に助成した。 14市町 66世帯</p> <p>(3) 地域介護基盤整備促進事業 地域医療介護総合確保基金を活用して、認知症グループホーム等の設置を促進し、量的整備を行った。</p> <p>ア 地域密着型サービス等整備助成事業 市町村の計画に基づき事業者が実施する認知症グループホーム等の整備事業に助成し、介護基盤整備を推進した。</p> <p>小規模特別養護老人ホーム 11箇所 認知症高齢者グループホーム 12 小規模多機能型居宅介護事業所 7 認知症対応型デイサービス 1 地域包括支援センター 1 介護予防拠点 2</p> <p>イ 施設開設準備経費等支援事業 開設時から安定した質の高いサービスが提供できるよう、施設の開設時に必要な初年度経費に対して助成した。</p> <p>特別養護老人ホーム 3箇所 介護老人保健施設 1 小規模特別養護老人ホーム 5 認知症高齢者グループホーム 5 小規模多機能型居宅介護事業所 3 定期巡回・臨時対応型訪問看護介護 1</p> <p>(4) 京都地域包括ケア推進機構の事業展開 京都地域包括ケア推進機構において、在宅療養あんしんプロジェクト、看取り対策プロジェクト、認知症総合対策推進プロジェクト等7つの事業推進プロジェクトを実施するとともに、各保健所に地域包括ケア推進ネットを設置し、プロジェクトを実施する市町村及び地域団体等に対し支援を行った。</p> <p>(5) 介護・医療連携ケア推進事業</p>

				<p>ア 医療職と介護職の相互連携に必要な専門知識等に関する研修を実施した。</p> <p>受講者数 医療的研修 448人 指導看護師養成研修 158 指導看護師フォローアップ研修 56</p> <p>イ 看護職員と介護職員が連携して医療的ケアを安心・安全に提供することができるよう、研修を実施している登録機関の質を担保するため、関係者会議等を開催した。</p> <p>開催数 2回</p> <p>(6) 在宅療養あんしん病院登録システム推進強化事業 在宅で療養する高齢者がいつでも必要な時に安心して適切な医療サービスを利用できるよう、新たに空床情報の公開によるスムーズな入院を支援するなど、在宅療養あんしん病院登録システムを強化するとともに、医療・介護・福祉の関係者が連携した在宅医療をチームで支える取組を推進した。</p> <p>在宅療養あんしん病院指定数 138病院 登録者数 11,772人</p> <p>3 執行額 1,574,244,700円 (うち委託料 66,517,409円 補助金 1,472,061,476円)</p>								
2 児童福祉費												
1 児童福祉総務費 (P102)	7,652,965,000 (10,434,419,672)	7,111,262,951 (9,574,019,647)	京都子育て支援医療助成事業 (医療保険政策課)	<p>1 施策の趣旨等 子育てに係る経済的負担を軽減し、子育てを社会全体で支援する。</p> <p>2 施策の実施状況 中学校卒業までの子どもを対象に、市町村が実施する子育て支援医療給付事業に対して助成した。</p> <table border="1"> <tr> <td></td> <td>京都市</td> <td>京都市以外の市町村</td> <td>計</td> </tr> <tr> <td>医療費</td> <td>949,966,382円</td> <td>963,947,210円</td> <td>1,913,913,592円</td> </tr> </table> <p>3 執行額 1,943,317,726円 (うち補助金 1,943,184,000円)</p> <p>1 施策の趣旨等 発達障害児童に対して早期に専門的な支援を行うことにより、対象児童の健やかな成長につなげるとともに、発達障害児童支援に関わる医師や専門職を養成し、支援体制の更なる充実を図る。</p> <p>指標：スクリーニング実施率 目標：47% 実績：43.8%</p> <p>2 施策の実施状況 (1) 発達障害児童早期療育支援事業補助金 市町村が実施する園巡回支援、ソーシャルスキルトレーニング、ペアレントトレーニング</p>		京都市	京都市以外の市町村	計	医療費	949,966,382円	963,947,210円	1,913,913,592円
	京都市	京都市以外の市町村	計									
医療費	949,966,382円	963,947,210円	1,913,913,592円									
	10,264,000 (少子化対策総合戦略事業費)	決算額の財源 内訳 国庫支出金 947,238,345 繰入金 431,363,828 繰越金 8,142,000 諸収入 1,000,000,000 府債 47,000,000 一般財源 4,677,518,778	発達障害者支援体制整備事業 (障害者支援課)									

科 目	予算現額 円	決算額 円	主要な施策	施策の実施状況と成果等
			児童虐待総合対策事業 (こども総合対策課) 家庭支援課	<p>グ、発達相談・発達検査に対して助成した。            実施市町村数 24市町村</p> <p>(2) 発達クリニックの実施            要支援児童の保護者を対象に、各保健所において医師等による指導助言を行った。</p> <p>(3) 専門職の育成            ソーシャルスキルトレーニング及びペアレントトレーニングを行う専門職を養成するための研修を実施した。            受講者数 延べ321人</p> <p>(4) 発達障害診療体制拡充事業            発達障害の診察ができる小児科医師を養成した。            養成数 2人</p> <p>3 執行額 19,313,525円            (うち補助金 10,079,500円)</p> <p>1 施策の趣旨等            急増・困難化する児童虐待に迅速かつ的確に対応するため、関係機関と連携を図り、未然防止、早期発見・早期対応、再発防止に至るまで、一貫した施策を総合的に推進する。</p> <p>2 施策の実施状況</p> <p>(1) 未然防止            心理カウンセラー、医師、保健師等による相談・支援を行うとともに、児童虐待防止ネットワーク会議を通じた関係機関との連携強化や市町村への虐待防止アドバイザーの派遣等を実施した。            心理カウンセラー等による相談・支援 延べ108人            虐待防止アドバイザーの派遣 21市町</p> <p>(2) 早期発見・早期対応            児童相談所への児童虐待対応協力員の配置、法的対応を行うための弁護士の招へいを実施するとともに、相談援助を行う児童家庭支援センターの運営費に助成し、地域における相談体制を充実した。            児童虐待対応協力員の配置 12人            弁護士への依頼件数 92件            児童家庭支援センター相談人数 延べ1,657人</p> <p>(3) 再発防止            精神科医を配置し、保護者へのカウンセリングを実施した。            精神科医による保護者カウンセリング 154件</p> <p>(4) 市町村との連携強化</p>

			<p>少子化対策総合戦略事業 (こども総合対策課) 家庭支援課</p>	<p>市町村(要保護児童対策地域協議会)職員の保護者対応技術力の養成等、児童虐待に関する専門的な対応・技術力の強化を図った。 市町村等児童福祉専門職員育成研修参加者数 37人</p> <p>3 執行額 <span style="float: right;">72,361,957円 (うち委託料 3,744,588円 補助金 25,830,000円)</span></p> <p>1 施策の趣旨等 次代の社会を担う子どもや若者が、結婚や子育てに夢を持ち、家庭を築き、子どもを生み育てる希望が叶う社会の実現に向け、抜本的・総合的な少子化対策の推進を図る。</p> <p>2 施策の実施状況</p> <p>(1) 子育てピアサポート事業</p> <p>ア きょうと子育てピアサポートセンター設置事業 「きょうと子育てピアサポートセンター」を開設(平成28年8月22日)し、市町村の「子育て世代包括支援センター」の設置の支援等を行った。 子育て世代包括支援センター設置市町数 20市町</p> <p>イ オール京都子育て支援事業 子育て支援に積極的に取り組む団体の認証制度を創設するとともに、認証団体が行う子育て支援団体への中間的支援に対して助成した。 認証団体数 11団体 助成団体数 5 助成額 3,064,000円</p> <p>ウ 子どもを育む文化創造事業</p> <p>(ア) 「京都府少子化対策府民会議」の設置 オール京都体制で子育てを応援する気運を醸成するため府民会議を設置し、府民運動を展開した。 参画団体数 159団体</p> <p>(イ) 「きょうと育児の日(毎月19日)」の普及・啓発 きょうと育児の日の普及・啓発を実施した。 ライトアップ事業 平成28年4月19日(2箇所) 平成28年11月22日(6箇所)</p> <p>(ウ) 「一緒にしあわせ!子育て京都」キャンペーンの実施 パートナーや子どもとのふれあい写真を募集し、応募作品を活用した広報啓発を特設サイト等で実施した。 写真応募数 207点 移動写真展 平成29年2~3月(9箇所)</p> <p>(エ) 京都府子育て支援表彰の実施 子育て支援に寄与する事業所・団体に対する知事表彰を実施するとともに、先進事例集を作成した。</p>
--	--	--	---	---

科 目	予算現額	決算額	主要な施策	施策の実施状況と成果等								
	円	円		<p>被表彰団体 18団体</p> <p>(オ) 一緒にしあわせ！学生ショート動画コンテストの開催 結婚や子育てを応援する動画作品を募集して優秀作品を顕彰し、受賞作品をテレビCM、映画館CM等の広報啓発に活用した。</p> <p>動画応募数 30点</p> <p>(2) 保育人材総合確保事業</p> <p>ア 保育士修学資金貸付等事業 保育士資格取得のための修学資金、潜在保育士の再就職時の就職準備金、保育料等の負担軽減のための貸付、保育補助者の雇上費の貸付を実施した。</p> <table data-bbox="1153 507 1944 638"> <tr> <td>保育士修学資金貸付</td> <td>29件</td> </tr> <tr> <td>潜在保育士の再就職準備金貸付</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>未就学児をもつ潜在保育士に対する保育所復帰支援に係る貸付</td> <td>2</td> </tr> <tr> <td>保育補助者雇上支援に係る貸付</td> <td>2</td> </tr> </table> <p>イ 保育人材確保・養成事業 府や京都市、保育団体、養成校、労働局等で構成する協議会を新たに設置し、保育士確保・養成に関する現状の共有と今後の取組方策の検討を行った。</p> <p>開催回数 6回</p> <p>ウ 保育士・保育所マッチング支援事業 京都府保育士人材マッチング支援センターにおいて、保育士の就職相談、職業紹介・定着支援のほか求人開拓などを実施し、保育人材の安定的確保・定着を図った。 京都府保育人材マッチング支援センターにおけるマッチング数 実績 69人 離職保育士バンク登録人数 実績 261人</p> <p>(3) 地域子育て人材養成事業</p> <p>ア 子育ての達人の養成 高齢者や子育て経験者を「子育ての達人」として養成・認定し、保育所など子育て支援の場の担い手となってもらうことにより、子育てにやさしい地域づくりを推進した。 子育ての達人の養成数 33人</p> <p>イ 子育て支援員等の養成</p> <p>(ア) 地域の子育て支援サービスを支える「子育て支援員」を養成した。 子育て支援員の養成数 180人</p> <p>(イ) 地域の子育て支援を支える「放課後児童支援員」を養成した。 放課後児童支援員の養成数 365人</p> <p>(4) 「家計にやさしい」子育てあんしん京都事業</p> <p>ア 京の子育て応援総合融資事業 子育てに係る費用全般を対象とした金融商品を金融機関と協働して創設し、子育て世帯の経済的負担の軽減を図った。</p>	保育士修学資金貸付	29件	潜在保育士の再就職準備金貸付	1	未就学児をもつ潜在保育士に対する保育所復帰支援に係る貸付	2	保育補助者雇上支援に係る貸付	2
保育士修学資金貸付	29件											
潜在保育士の再就職準備金貸付	1											
未就学児をもつ潜在保育士に対する保育所復帰支援に係る貸付	2											
保育補助者雇上支援に係る貸付	2											

対象経費 子育てに係る経費全般  
 限度額 200万円  
 実施金融機関 5機関  
 返済期間 10年間  
 金利 金融機関の通常金利より2%低利  
 利用実績 30件

イ 第3子以降保育料無償化事業

子育て世帯の経済的負担を軽減するため、市町村が実施する3人目以降の幼児教育・保育料無償化事業に対して助成を行った。

補助対象 全市町村  
 負担割合 府、市1/2  
 交付額 633,618,000円

(5) きょうと婚活応援センター事業

「きょうと婚活応援センター」を活動拠点とし、婚活マスターや婚活支援団体、民間企業等と連携し、結婚の希望を持つ独身者の支援を行うとともに、団体会員制度と登録結婚支援団体制度を新たに創設し、事業所や団体の従業員への支援を拡充した。

本会員登録者数 1,581人  
 団体会員数 48団体  
 婚活マスター登録数 45人  
 登録結婚支援団体 10団体  
 リレーフォーラム 4回開催(京都市、宮津市、城陽市、南丹市)

(6) きょうと若者ライフデザイン事業

大学生や企業等で働く若手社員を対象に、結婚や家庭、子育ても含めた人生設計(ライフデザイン)を考えるためのワークショップを開催した。

開催実績 延べ 29校・団体  
 受講者数 1,029人  
 生き方ログ(ライフデザインを考えるロールモデル集)を作成  
 ライフデザインラボ(学識者や経営者、大学生等により事業を検討する協議会)の開催回数 3回

(7) 子ども・子育て基盤整備事業

待機児童を解消するための保育所や放課後児童クラブ整備のほか、身近に利用できる小規模保育や病児保育など、「安心して子育てしながら働きたい」という思いに応える基盤整備を実施した。

ア 待機児童解消促進事業

待機児童の解消を図るために、保育所の新設及び増改築等を実施する市町村への助成を実施した。

4箇所(うち新設1箇所)

イ 放課後児童クラブ等整備事業

児童の安心・安全な居場所を確保するため、放課後児童クラブ室等の整備に助成した。

科 目	予 算 現 額	決 算 額	主 要 な 施 策	施 策 の 実 施 状 況 と 成 果 等
	円	円		<p>施設整備 12箇所</p> <p>ウ 保育や地域の子育て支援充実事業 市町村が地域の実情を踏まえ実施する放課後児童クラブ、病児保育事業、延長保育事業、乳児家庭全戸訪問事業、地域子育て支援拠点事業、一時預かり事業、ファミリー・サポートセンター事業等に助成した。 26市町村</p> <p>3 執 行 額 <span style="float: right;">4,752,092,306円</span></p> <p style="text-align: right;">( 委託料 112,669,516円 うち補助金 3,619,460,158 貸付金 1,000,000,000 )</p>
			<p>保育人材活躍サポート事業 (こども総合対策課)</p>	<p>1 施策の趣旨等 保育士確保の取組みを更に強化するため、潜在保育士の再就職時の就職準備金の貸付額倍増などの制度拡充を実施した。</p> <p>2 施策の実施状況 潜在保育士が再就職する際に必要となる準備金の貸付等を実施した。 潜在保育士の再就職準備金貸付 1件 未就学児をもつ潜在保育士に対する保育所復帰支援に係る貸付 2 保育補助者雇上支援に係る貸付 2</p> <p>3 執 行 額 <span style="float: right;">239,299,588円 (補助金)</span></p>
			<p>子どもの未来を守る事業 (家庭支援課)</p>	<p>1 施策の趣旨等 すべての子どもが生まれ育つ環境に左右されることなく、その将来に夢や希望を持って成長していけるよう、施策を推進する。</p> <p>2 施策の実施状況 (1) ひとり親家庭等のこどもの居場所づくり事業 こどもの生活支援や学習支援等を実施する居場所づくりを支援した。 ア 夏休み等短期型 夏休み等長期休暇期間中の生活習慣及び学習等を支援した。 実施箇所 6箇所(6市町) 参加世帯 95世帯 イ 通年型 年間を通じ、居場所を開設し、生活習慣及び学習等を支援した。</p>



			<p>社会福祉施設等安全対策事業 (障害者支援課) (家庭支援課)</p>	<p>実施箇所 15箇所(10市町) 参加世帯 181世帯</p> <p>ウ 親の学び直し等の支援 こどもの居場所を活用し、ひとり親への生活相談及び学習等を支援した。</p> <p>実施箇所 2箇所(2市町) 参加世帯 14世帯</p> <p>(2) 子どもの未来づくりサポーター活動支援事業 若い世代が主体となった子どもの貧困対策に係る取組みを支援した。</p> <p>実施箇所 4箇所(3市町)</p> <p>(3) 就業定着支援事業 児童養護施設等と連携し、入所中から退所後まで切れ目のない支援を実施した。 進路相談人数 9人 研修実施回数 23回</p> <p>(4) 施設退所者居場所運営事業 児童養護施設退所児童の居場所の運営と併せて生活相談等の寄り添い型支援を実施した。</p> <p>交流事業参加退所者数 延べ 66人</p> <p>(5) 施設等入所児童社会生活自立支援貸付事業 保護者の援助が期待できない児童養護施設等入所者及び退所者が、安定した生活基盤を築くことができるよう、資格取得及び家賃等生活に要する資金貸付を実施した。 貸付件数 4件</p> <p>3 執行額 60,852,329円 (うち委託料 54,672,891円)</p> <p>1 施策の趣旨等 社会福祉施設の安全対策強化を図るため、非常通報装置の設置等を実施する。</p> <p>2 施策の実施状況</p> <p>(1) 民間施設</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>施設名</th> <th>整備内容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>舞鶴学園</td> <td>防犯カメラ</td> </tr> <tr> <td>舞鶴双葉寮</td> <td>防犯カメラ</td> </tr> <tr> <td>るんぴに学園</td> <td>防犯カメラ、非常通報装置</td> </tr> <tr> <td>青葉学園</td> <td>防犯カメラ、非常通報装置</td> </tr> <tr> <td>峰山乳児院</td> <td>防犯カメラ、非常通報装置</td> </tr> <tr> <td>京都大和の家</td> <td>防犯カメラ、非常通報装置</td> </tr> </tbody> </table> <p>(2) 府立施設</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>施設名</th> <th>整備内容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>府立舞鶴こども療育センター</td> <td>非常通報装置、センサーライト</td> </tr> <tr> <td>府立こども発達支援センター</td> <td>防犯カメラ、非常通報装置</td> </tr> <tr> <td>家庭支援総合センター</td> <td>非常通報装置</td> </tr> <tr> <td>福知山児童相談所</td> <td>防犯カメラ、非常通報装置</td> </tr> </tbody> </table>	施設名	整備内容	舞鶴学園	防犯カメラ	舞鶴双葉寮	防犯カメラ	るんぴに学園	防犯カメラ、非常通報装置	青葉学園	防犯カメラ、非常通報装置	峰山乳児院	防犯カメラ、非常通報装置	京都大和の家	防犯カメラ、非常通報装置	施設名	整備内容	府立舞鶴こども療育センター	非常通報装置、センサーライト	府立こども発達支援センター	防犯カメラ、非常通報装置	家庭支援総合センター	非常通報装置	福知山児童相談所	防犯カメラ、非常通報装置
施設名	整備内容																											
舞鶴学園	防犯カメラ																											
舞鶴双葉寮	防犯カメラ																											
るんぴに学園	防犯カメラ、非常通報装置																											
青葉学園	防犯カメラ、非常通報装置																											
峰山乳児院	防犯カメラ、非常通報装置																											
京都大和の家	防犯カメラ、非常通報装置																											
施設名	整備内容																											
府立舞鶴こども療育センター	非常通報装置、センサーライト																											
府立こども発達支援センター	防犯カメラ、非常通報装置																											
家庭支援総合センター	非常通報装置																											
福知山児童相談所	防犯カメラ、非常通報装置																											

科 目	予 算 現 額	決 算 額	主 要 な 施 策	施 策 の 実 施 状 況 と 成 果 等
	円	円		<p style="text-align: center;">施設名 宇治児童相談所 府立桃山学園</p> <p style="text-align: center;">整備内容 防犯カメラ、非常通報装置 防犯カメラ、非常通報装置</p> <p>3 執 行 額 <span style="float: right;">16,025,520円 (うち工事請負費 9,389,520円)</span></p> <p>1 施策の趣旨等 家庭的な養育を推進するため、ファミリーホーム開設に係る養育者住居の改修に要する経費を助成し、家庭的養護の推進を図る。</p> <p>2 施策の実施状況 複数の児童の受け入れが可能となるよう、既存建物の居間等の改修及び風呂、トイレの増設を行った。 改修施設 1箇所</p> <p>3 執 行 額 <span style="float: right;">8,000,000円 (補助金)</span></p>
3 母子福祉費 ( P104 )	74,466,000 (1,242,211,000)	57,906,790 (1,215,562,860) 決算額の財源 内訳 国庫支出金 31,235,000 一般財源 26,671,790	母子家庭等自立支援事業 (家庭支援課)	<p>1 施策の趣旨等 就職が困難な状況にある母子家庭の母等に対し、安定した収入を得て自立した生活を送ることができるようジョブパーク等と連携して就労・生活を支援する。</p> <p>2 施策の実施状況</p> <p>(1) 高等職業訓練促進給付金事業 母子家庭の母等が、就職に有利な資格を取得するため養成機関へ通学している場合に給付金を支給することで、生活の負担軽減を図った。 高等職業資格就学者数 10人</p> <p>(2) 母子家庭等就職支援保育サービス事業 ひとり親家庭自立支援センター等に保育ルームを設置し、職業訓練等に参加しやすい環境を整備した。 保育ルームの設置 6箇所</p> <p>(3) ひとり親家庭就職活動支援事業 母子家庭の母等を対象に就職面接会を実施した。 就職面接会の開催 5回</p> <p>(4) 母子家庭の母の就労支援事業 直ちに就労を目指すことが困難な母子家庭の母に対し、就労体験・ビジネスマナーの習得、心のケア等の生活支援を実施した。</p>

				<p>実施箇所 参加者</p> <p>1 箇所 40人(うち就職者6人)</p> <p>3 執行額</p> <p>57,906,790円 (うち委託料 44,896,470円)</p>
<p>4 児童福祉施設費 (P106)</p>	<p>1,728,000 (218,976,000)</p>	<p>825,120 (216,344,908)</p> <p>決算額の財源 内訳 分担金及び負担金 188,000 国庫支出金 412,000 一般財源 225,120</p>	<p>社会福祉施設等安全対策事業 (家庭支援課)</p>	<p>1 施策の趣旨等 社会福祉施設の安全対策強化を図るため、防犯カメラの設置を実施する。</p> <p>2 施策の実施状況 施設名 整備内容 府立淇陽学校 防犯カメラ</p> <p>3 執行額</p> <p>825,120円 (工事請負費)</p>
<p>3 生活保護費 1 生活保護総務費 (P106)</p>	<p>15,821,000 (910,681,000)</p>	<p>15,464,247 (904,233,694)</p> <p>決算額の財源 内訳 国庫支出金 11,598,185 一般財源 3,866,062</p>	<p>生活福祉相談・就労支援事業 (福祉・援護課)</p>	<p>1 施策の趣旨等 保健所に就労支援員を配置し、被保護者の就労や社会参加による自立を支援する。</p> <p>2 施策の実施状況 保健所に就労支援員を配置し、総合的な相談・自立支援を実施した。 就労支援件数 108件(うち就労や収入増につながった件数 53件)</p> <p>3 執行額</p> <p>15,464,247円</p>
<p>4 災害救助費 2 備蓄費 (P108)</p>	<p>49,449,000 (49,511,000)</p>	<p>49,448,506 (49,480,616)</p> <p>決算額の財源 内訳 繰入金 49,448,506</p>	<p>災害救助用備蓄物資整備事業 (健康福祉総務課)</p>	<p>1 施策の趣旨等 災害発生後24時間に必要な物資を、5年計画で整備する。</p> <p>2 施策の実施状況 「公的備蓄等に係る基本的な考え方」に基づき、5年計画の3箇年目分を購入した。 毛布 25,600枚 アルファ化米 126,400食</p>

科 目	予 算 現 額	決 算 額	主 要 な 施 策	施 策 の 実 施 状 況 と 成 果 等
	円	円	備蓄物資補充事業 (健康福祉総務課)	<p>飲料水 27,960リットル 等</p> <p>3 執 行 額 41,610,584円</p> <p>1 施策の趣旨等 平成28年熊本地震による被災地支援に要した災害救助用備蓄物資の補充を実施する。</p> <p>2 施策の実施状況 被災地支援に要した災害救助用備蓄物資を補充した。                      簡易トイレ 822基                      凝固剤 12,400回分                      トイレットペーパー 943,200m (6,288本)                      アルファ化米 10,000食</p> <p>3 執 行 額 7,837,922円</p>